

[View this email in your browser](#)

KeMCo Keio Museum Commons



慶應義塾ミュージアム・コモンズ(KeMCo)開館まで、あと2か月ほどとなりました。
KeMCoは昨年末にオフィスを引っ越し、東別館で開館準備を着々と進めています。

KeMCoの近況

グランドオープン企画の準備が進む

4月のグランド・オープンに向けて展覧会や国際シンポジウムの準備を進めています。
KeMCoが企画する2種類の展覧会に加えて、アート・センターとメディア・センターの展示スペースで連携展示が開催予定。詳しいお知らせは、2月10日過ぎにウェブサイトで公開します。三田キャンパス全体がミュージアムになる番です。

「Exhibition RoomX：人間交際」、2月28日まで会期延長

10月からオンラインで開催している展覧会「Exhibition RoomX：人間交際」。当初の会期は12月25日までの予定でしたが、好評につき、2月28日まで会期を延長しました。まだアクセスしていない方は、この機会に是非アクセスしてみてください。

[Exhibition RoomX](#)

KeMCoのオフィス、東別館に引っ越し／収蔵庫お祝い



12月にKeMCoのオフィスが東別館4Fに引っ越しました。オフィスのレイアウトには、Activity-based Workingの考え方が取り入れられています。また、収蔵庫の利用開始にあわせて、1月には三田春日神社の宮司によるお祓いが行われました。

Open Studio! #03

本格稼働に向けて、KeMCo Studio（ケムコ・スタジオ）関係者は現在、慌ただしくも活気ある毎日を送っております。運用メンバーには、私たち教職員に加えて学生さん達も加わり、だいぶ賑やかになってきました。そこで本稿では、昨年末から今月にかけてStudio周辺で行ってきた、そして行っている活動を写真とともにご紹介します。

12月某日

これまでのKeMCo Voiceでも触れてきたように、Studioは様々なかたちの「ファブリケーション＝ものづくり」を実践していく場となり、ハイライトのひとつが本格的な撮影スタジオ（機能）となります。古典籍・貴重書の撮影をはじめ、各種文化財のInput（記録・保存）を主目的に設計されました。企画段階からカロワークスの村松さん—写真撮影をはじめ、アーカイブ業務を手がけているプロフェッショナル—に監修いただいており、この日は、Studio初の撮影日となりました。撮影した作品や撮影様は後日、KeMCoウェブサイト等で紹介していく予定なので、ぜひ楽しみにお待ちください。



撮影風景（カロワークスの村松氏・岸氏とKeMCoの松谷氏・小松氏）

1月某日

Studioのメンバーは、KeMCo主催の催しのほかに、慶應義塾が実施する文化関連活動のバックアップも（折々）担当しています。1月は、KeMCoプレビューイベントにて「MITA Intercept」（2020）を発表した山田健二氏によるトーク・イベントや「文化と集団のアーバン・リサーチ—いま、都市のコミュニティはどうなっているか？」と題されたシンポジウムの映像撮影・オンライン配信を担当しました。どちらも「現場」の視点から、文化・芸術の現在（いま）と未来（これから）が語られる深い洞察に満ちた内容でした。既に後者はアーカイブが公開されているので、お時間のある方は、ぜひ視聴してみてください。



シンポジウムの模様（文化と集団のアーバン・リサーチ）

2月某日

Studio運用メンバーに学生さん達が加わりました。所属や専門にかかわらず交流を生み出していく「ハブ」となるべく誕生したKeMCoを体現するかのように、学生陣の所属・学年は様々で、文学部をはじめ法学部や理工学部、メディアデザイン研究科等から集まっています。活動詳細については、KeMCoのnoteに投稿されている記事をご覧くださいのですが、学生ならではの視点と行動力には、私たち教職員も「そうくるか！」と日々驚きつつ学ばせてもらっています。彼女・彼らの発想やアイデアは、グランドオープン時に幾つか実現するものと思いますので、こちらも是非ご期待ください。



ワークショップの模様（学生さん達を交えたプレスト）

宮北剛己（KeMCo特任助教）

空き地

KeMCo専任講師 本間友

新しい年になり、あっという間にひと月がたちました。去年のいまごろは、新型コロナウイルスの影響が広がり始めたころでした。3月の初旬にイギリスへの調査出張を準備していたので、無事渡航できるだろうか？と心配していたことを覚えています。いまから考えるとかなり暢気だったなあと思います。
この1年間は、先が見通せない状況の中でも、可能なオプションを探しながら活動を進めていく方法を学び、世界中で同じように奮闘する大学ミュージアムの連帯を親しく思う日々でした。また、KeMCoの大きな柱である「デジタルとアナログの融合」が、今後、ミュージアムにとって必要不可欠なものであることを改めて感じました。
4月のグランドオープンまで、あと2ヶ月弱。ラストスパート…ではなく、スタートダッシュに向けてもうひと頑張りしたいと思います！

お知らせ

KeMCo事務室の開室時間

学内施設の段階的な使用開始に伴い、当分の間、水曜日、木曜日に開室いたします。

> 詳細は[こちら](#)

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想は[こちら](#)

次回のKeMCo Voiceは2021年4月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2021 慶應義塾ミュージアム・コモンズ Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022

[お問い合わせ](#)

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方は[こちら](#)

